



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

平成 28 年 1 月 20 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ミナカタアンゼンアソシ
団体名 南方安全・安心ネットワーク
所在地
連絡先
フリガナ マノヒデキ
代表者氏名 真野英樹

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり Ⓔ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	南方地区『ふれあい地域づくり』事業
事業実施区域(小学校区)	中央小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 回目 (年度から)
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください 新しくマンション等に入居した住民と以前からの住民との交流がなく高齢者の独り暮らし、高齢夫婦のみの世帯も多く大きな災害が起こっても地域が対応できない恐れがある。 また、住民同士の交流の希薄さから、不審者、危険場所の情報が共有されず、地域の安全が保たれなくなることもありうる。南方「ふれあい地域づくり事業」の実施を通して、地域住民、各世代の交流を図り、地域コミュニティの次世代の担い手を育てる為。
事業の目的・目標	※本事業を実施する目的、実施後の目標について記載してください。 各世代が交流をもち、共に協力して事業を実施し、各世代地区住民が互いに助け合う「共助にあふれた地域」を作り、次世代の地域コミュニティの担い手を育てることを目的とする。 地区実施の事業に、各世代の住民の参加人数の増加と、若い世代が地域コミュニティに関心を持ち、次世代の担い手に自発的に立候補することを目標とする。

<p>事業の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防火訓練 参加目標 ～20歳代 50名 30～60歳代 50名 70歳代～ 30名 ・ 西川清掃運・・・参加目標 地区住民 100名 学校関係 300名 ・ 地域交流サロンの月1回の開催・・・参加目標 各回 50名 ・ 各世代交流餅つき大会の開催（会場でのアンケートで実数を把握） 参加目標 ～20歳代 50名 30～60歳代 100名 70歳～ 50名
<p>期待される成果</p>	<p>※事業実施することで、変化すること、期待している成果を事業内容を踏まえて記入してください。</p> <p>各事業実施により、地域住民の交流が図られ、地区に共助の意識が高まり、「住みやすさ」「安全・安心」な町づくりに貢献し、若い世代が地域コミュニティに関心が持てる。</p>
<p>企画などの工夫</p>	<p>※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。</p> <p>南方地区の各種団体と意見交換を行い、「ふれあい地域作り」事業の事業計画、実施計画をより効果的なものにして行きます。また、地域住民の事業参加を呼びかけ、住民の連帯感を図り、地域住民の意見、感想を南方安全・安心ネットワークの各部会に周知しより柔軟な組織に作り上げます。</p>
<p>事業の情報公開</p>	<p>※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。</p> <p>各種事業計画を各町内会に回覧板にて連絡し、事業参加を呼びかけます。また、各事業の実施結果、内容を「南方ふれあいだより」を季刊で発行し、地域住民に回覧板にて知らせます</p>
<p>次年度以降の予定</p>	<p>※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。</p> <p>①次年度以後の活動計画 継続実施</p> <p>②資金の確保について <input checked="" type="checkbox"/> 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 <input type="checkbox"/> () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 ○資金確保の具体的な方策：</p>
<p>その他PRしたい点</p>	<p>※小学校区より小規模（単位町内会等）で申請されるばあいは、今後どのように学区等への広がりをはかっていくかなどもお書きください。</p>

収支予算書

◆収入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	100,000	105,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	120,000	105,000	
参加者負担金	-	0	
協賛金	-	0	
寄付、他収入	-	0	
計			

◆支出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
報償費	20,000	20,000	ガロン簿記
原研料費	100,000	100,000	もち米、あんこ等
燃料費	20,000	20,000	アロパングス代等
印刷費	10,000	10,000	チラシ
消耗品費	20,000	20,000	ガロン、協賛会費
賃料料費	20,000	20,000	
計	220,000	210,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流サロン 西川 清輝 (企画会議)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流サロン ○ 西川 清輝
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流サロン
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流サロン
8月	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流サロン
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流サロン 防火訓練 (企画会議)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流サロン ○ 防火訓練 ものま大会 (企画会議)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものま大会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流サロン
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流サロン
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流サロン 交流サロン (次年度企画会議)